

RC2 Corporation買収と 今後の経営目標について

2011年5月31日
証券コード:7867

- 今後のグローバル展開
- 買収後の経営目標
- グローバル経営体制

新たな経営目標

創業90周年に向けた目標（2015年3月期）

真のグローバルプレーヤーとして

- ・持続的な成長の実現
- ・売上30億ドル、営業利益3億ドルの達成
- ・海外売上高比率50%を目指す

中期経営計画

玩具事業の“改革”

- 定番事業の強化・拡大
- アジア地域の玩具事業拡大
- ボーイズ商品のグローバル化

RC2買収

グローバル展開の加速と
最大化

2011年3月期のタカラトミー

RC2 買収の効果①

TAKARA
TOMY



当社から見たRC2の魅力

① 北米での強固な自社販売網

② 磐石な経営基盤

③ 堅実な商品ライン

④ グローバルな人財・組織体制

TAKARA
TOMY
GROUP

RC2から見た当社の魅力

① 企画開発力

② 幅広い商品ブランド力

③ アジアでの販売網

④ 中国以外での生産体制

さらに、商品ラインや主力の販売地域など、ビジネスの重複が少ない

1 + 1 = 3 となるシナジーある買収

RC2 買収の効果②



グローバル展開を加速させるための戦略的および意義ある買収



※2011年3月11日説明会資料 page13～16をご参照ください。

RC2 買収に対する海外の反響

今回の買収に対して、高い期待と評価



With this move the company is transforming itself from a local giant into one with a decent presence in all major markets and a viable competitor to Mattel, Spin Master and Jakks. The integration of RC2 will give Takara Tomy a much better presence in North America and Europe. Whatever steps the Takara Tomy/RC2 Group takes, the national buyers at the large retailers will be watching it closely and not with unfriendly eyes. They think that RC2, with the backing it is now going to get, has considerable potential and buyers, for one, do not think that this is a bad thing at all.

本買収によって、タカラトミーは日本の巨人から、全ての有力市場で存在感をもつ企業へと変化を遂げて、マテル、スピニマスター、ジャックスパシフィックの競合となる。RC2との統合によって、タカラトミーは北米と欧州でより大きな存在となる。タカラトミーとRC2グループの今後の動きに、全国の大型小売のバイヤーたちの注意深くも友好的なまなざしが注がれている。RC2はタカラトミーという後ろ盾を得たことで大きなポテンシャルをもつことになり、バイヤーも期待を寄せている。

(出所: ToyNews 4月号)



it's clear that if it does come off, the combination of the two companies product lines will result in a formidable range that will offer TOMY great potential for expansion around the globe. RC2's strength in the American market would certainly offer Tomy the chance to significantly increase the reach of its brands in that territory, whilst Tomy's influence in Japan and other Asian markets would be beneficial to the lines currently offered by RC2.

もし買収が成立すれば、二社の商品ラインの組合わせは恐るべきラインアップとなり、タカラトミーが世界中で拡張する大きなチャンスとなる。RC2のアメリカ市場での力は、タカラトミーが自社ブランドの北米での販売力を大きく広げるチャンスとなる。また、タカラトミーが日本とアジア市場でも影響力は、RC2の既存の商品ラインにもプラスに働く。

(出所: Toys 'N' Playthings 4月号)

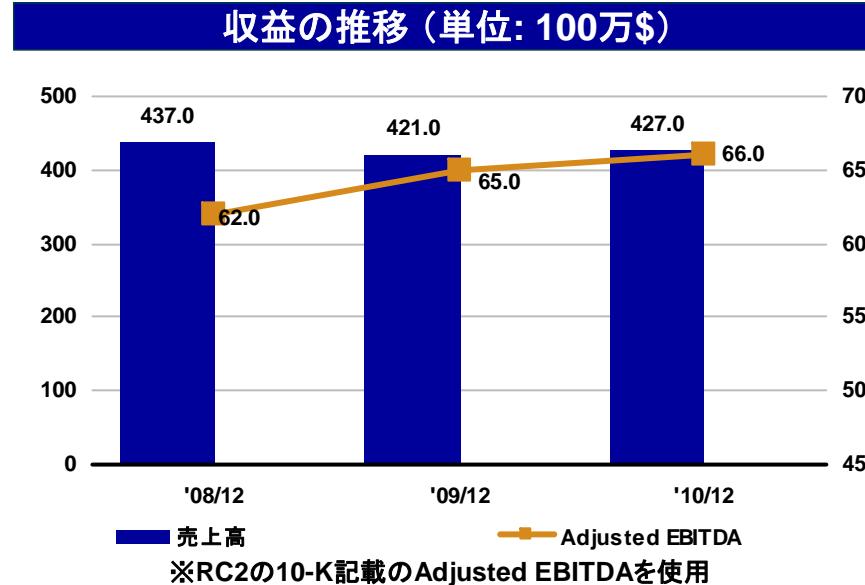
RC2の概要



優れた経営体質と、それによる高い業績

RC2 Corporation

- 消費者にフォーカスした戦略
育児の助けとなる商品で、家族の学びと成長を応援
 - Preschool, Youth & Adult事業(PYA) : TV番組でも人気キャラクターのチャギントンやトーマス関連商品、乗物玩具
 - Mom, Infant & Toddler事業(MIT) : 哺乳瓶や食器類、ベビーカー、チャイルドシート、育児玩具
- 北米を中心として、全世界25,000店舗への販売流通網
- 売上高 \$427百万、営業利益 \$45百万(2010年12月期)の高く、安定した業績
- 本社はアメリカ イリノイ州、従業員720名
- 米国NASDAQ市場に上場していた株式を1株\$27.90でTOB



RC2の製品・ブランド

TAKARA
TOMY

マタニティーから未就学児をカバーする優良な商品ブランド



Lamaze

SPECIAL AGENT OSO

THOMAS & FRIENDS
WOODEN RAILWAY

ERTL®

JOHNNY LIGHTNING®
SINCE 1949

the first years.

JJ COLE, COLLECTIONS



Preschool
Plus

Toddler

Infant

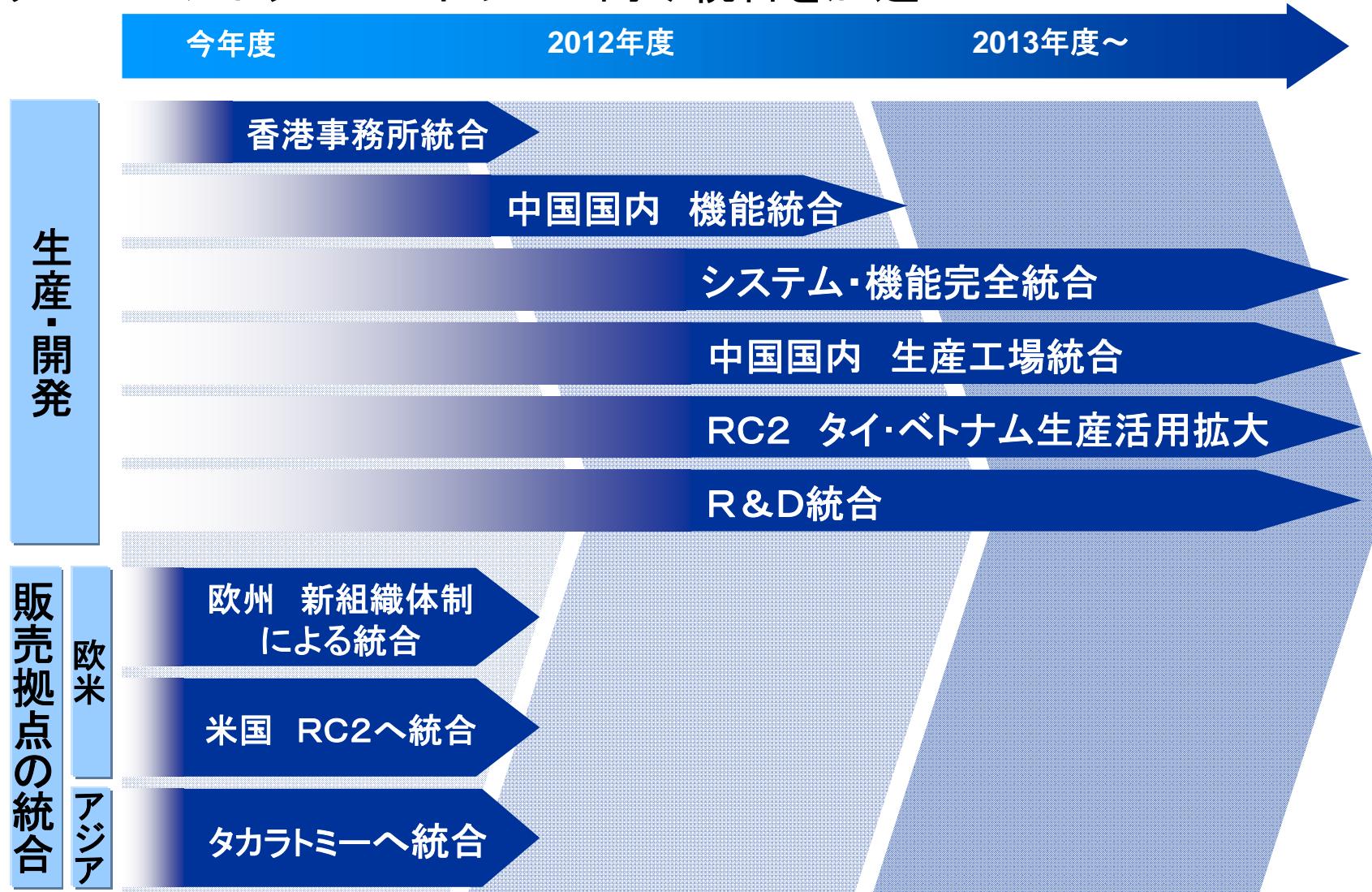
Prenatal



統合スケジュール

TAKARA
TOMY

グローバルトッププレイヤーに向け統合を加速



販売シナジーが高い商品カテゴリの導入タイミング



北米



“最大市場での早期販売シナジー確立”

- ⇒ RC2のオペレーションに1本化
- ⇒ RC2の自社販売網を使い既存商品の販売拡大
- ⇒ 両社共同での新商品開発
- ⇒ 2012年メキシコ市場開拓

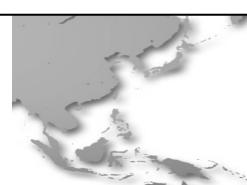
欧州



“既存拠点・ネットワークを活用した戦略的展開”

- ⇒ 新組織体制によるオペレーションの統合
- ⇒ 両社の強みを活かし、オペレーションを効率化
- ⇒ 売上規模の拡大により新たな拠点の開設

日本・アジア



“成長市場における事業展開加速化及び 製造プロセスの効率化”

- ⇒ 当社の販売・物流網を使い、RC2の商品の早期展開
- ⇒ 生産・開発体制の統合とBOP※導入による効率化

オセアニア



“新たな市場での事業開始”

- ⇒ RC2の自社販売網に当社商品を投入し販売拡大

- 今後のグローバル展開
- **買収後の経営目標**
- グローバル経営体制

経営目標①

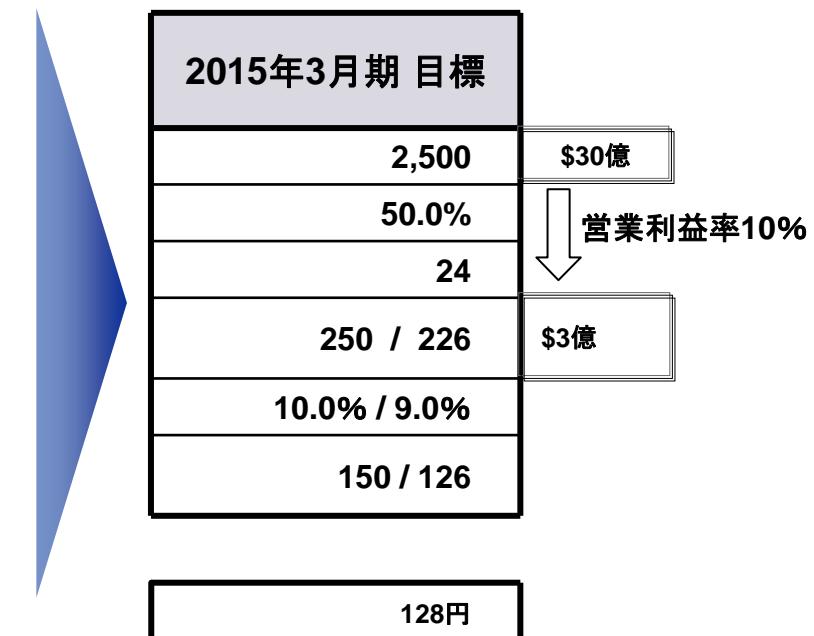
TAKARA
TOMY

2012年3月期は震災による国内市場の落込みとRC2の業績予想(11ヶ月)を盛り込む
2015年3月期は、買収シナジーによる大幅な業績伸長を目指す

	2011年3月期 タカラトミー実績	2012年3月期 計画
売上高	1,594	2,000
内海外売上比率	19.7%	37.6%
買収に関するのれん等償却	—	22
営業利益 のれん等償却前 / 後	103 / —	139 / 117
営業利益率	6.5% / —	7.0% / 5.9%
当期純利益 のれん等償却前 / 後	89 / —	84 / 62

(ご参考)

EPS * (調整後)	78円	93円
-------------	-----	-----



※

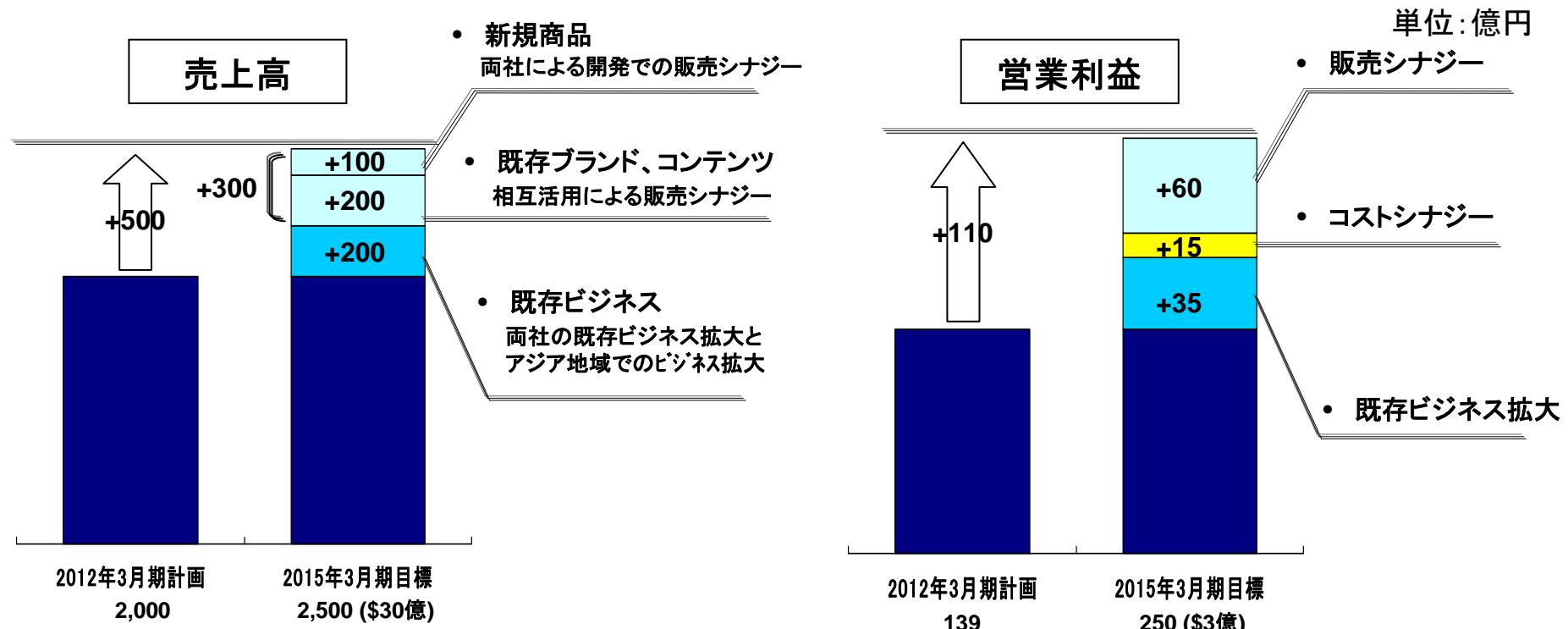
2012年3月期計画：のれん等償却額および繰延税金資産の影響を除いた当期純利益と潜在株式を含む株式により算出

2015年3月期目標：のれん等償却額を除いた当期純利益と潜在株式を含む株式により算出

経営目標②

TAKARA
TOMY

2015年3月期に売上高30億ドル、営業利益3億ドルの達成



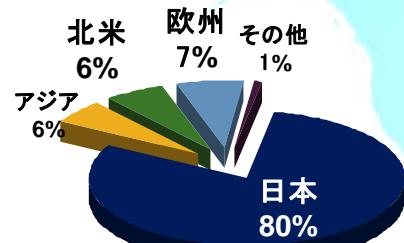
利益創出項目	売上高	営業利益
販売シナジー	300	60
コストシナジー	—	15
想定シナジー合計	300	75

経営目標③

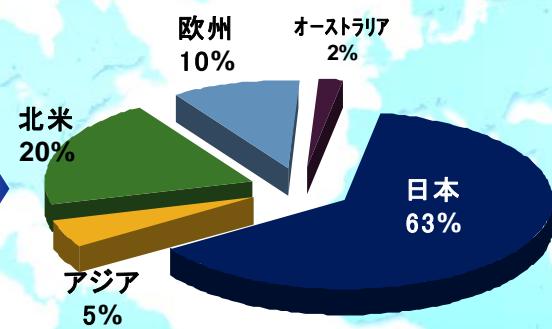
TAKARA
TOMY

2015年3月期までに海外売上高を50%まで拡大

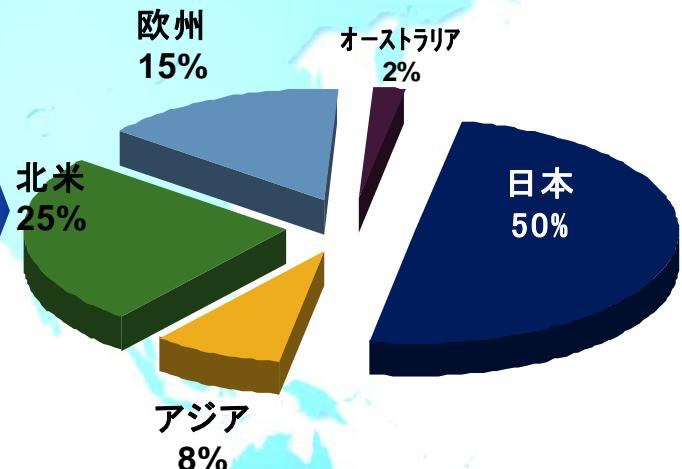
2011年3月期の地域別売上



2012年3月期の地域別売上計画



2015年3月期の地域別売上目標



- 今後のグローバル展開
- 買収後の経営目標
- **グローバル経営体制**

ガバナンスの強化とグローバル組織体制の拡充

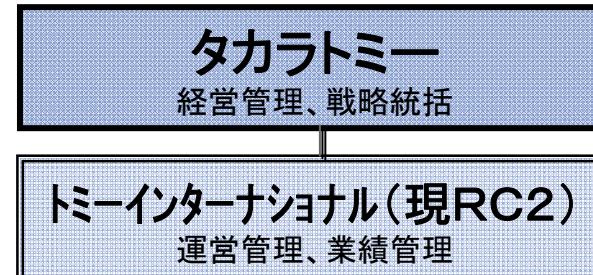
タカラトミー
取締役会

カート・ストルティング氏 取締役就任予定
(6月24日定時株主総会付議)



Curtis W. Stoelting 氏

グローバル
運営形態
(将来像)



- 海外(アジア除く)を統治
- 取締役会
タカラトミー3名、RC2 2名

トミーアメリカ
営業、マーケティング、商品開発

トミー欧州
営業、マーケティング

トミーオーストラリア
営業、マーケティング

トミー香港(インターナショナルディビジョン)
開発・ソーシング

トミーUK
トミーフランス
トミードイツ
トミースペイン
トミーベネルクス

ブランドの統一

グローバル戦略推進に向けたブランド統一

会社名	 → TOMY International ※6月末変更予定
コーポレート ブランド ※海外向け	TOMY®
ファミリー ブランド	   
プロダクト ブランド	            他

※現在協議中の為、変更となる場合があります。

統合効果実現に向けた体制



統合効果の早期実現に向け合同チームを組成

統合推進委員会(ステアリング・コミッティー)

統合プロセス全体のモニタリング、統合プランの承認、統合実務上の意思決定

統合事務局(PMO=プロジェクト・マネージメント・オフィス)

両社に設置され、事業タスクフォースチームが提起する運営上の課題を取り扱う。

各タスクフォースチーム

1. RC2の優れたグローバル企業プラットフォームを獲得

- ✓ 欧米市場での自社販売網獲得・強化
- ✓ 両社の商品ブランドのグローバル展開強化
- ✓ 生産・開発体制の強化(中国・東南アジア)
- ✓ グローバルな人財・組織体制の獲得

2. 真のグローバルプレーヤーとして新たな目標設定

- ✓ 売上高30億ドル、営業利益3億ドルの達成
- ✓ 海外売上比率50%へ拡大
⇒ EPS(調整後)の向上

3. 低利安定調達による買収

- ✓ 日本国内で低利安定調達
- ✓ 一部米ドル建てで為替リスク回避

4. グローバル経営体制を速やかに構築

- ✓ RC2 CEO(カート氏)の取締役就任(予定)

2011年 主要商品トピックス

TAKARA
TOMY

◆映画コンテンツ

トランスフォーマー

MOVIE3関連商品展開



商品・店頭・Web連動による
遊びの相乗効果期待

ディズニー

映画「カーズ2」
関連商品展開



ポケモン

ポケモン映画
関連商品展開



◆その他主要コンテンツ トピックス

プリティーリズム



国内アニメ展開開始

アジアでもアニメ展開を視野に始動

トミカ・プラレール

プラレール

鉄道トレンド 最高潮



こえだちゃん



今期復活。

7月から商品発売開始予定

リカちゃん



新ライン「ファンタジーリカちゃん」導入

デュエルマスターズ



玩具発売10年目。6月にビックイベント予定

商品力とメディアミックスの強化により、新規顧客増

ベイブレード・ビーダマン



アジアを含め、大型イベントを開催

ビーダマン、今秋アニメ化決定

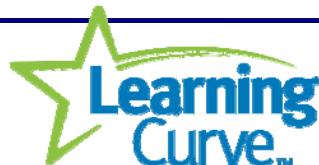
© TOMEY © Nintendo・Creatures・GAME FREAK・TV Tokyo・Shopro・JR Kikaku ©Pokémon ©ピカチュウプロジェクト © TOMEY/syn Sophia/テレビ東京/PRA制作委員会

© 2010 DreamWorks, LLC & Paramount Pictures Corporation. TM & © 2011 TOMEY Company, Ltd. All Rights Reserved.
TM and © 2011,Wizards of the Coast.Shogakukan,Mitsui/kids.Shopro.TV TOKYO © Disney/Pixar JR東日本商品化許諾済

2011年 RC2 主要商品トピックス

TAKARA
TOMY

玩具



ベビー

GUMDROP

Take & Toss
REUSE & RECYCLE

bundleme

Breastflow®

Lamaze



American
Red Cross



商品展開プラン

欧州、オーストラリア展開

- ・ 2010年 \$30 mill以上の売上

北米展開

- ・ 2010年秋より、ダイキャスト商品を Toys R Us限定で先行販売
- ・ 2011年、全商品ラインが Toys R Us, Target , Wal-mart を含む多くの店舗で展開

日本展開

- ・ 2011年、年末商戦で先行販売予定

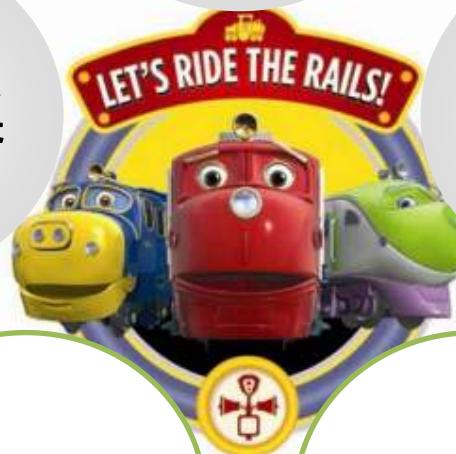
プラ製
(インターラクティブ)

ダイキャスト製

木製

機能付玩具

定番玩具





本資料には、タカラトミーの現在の見通し、目標、計画、戦略など将来に関する記述が含まれておりますが、これらは現在入手している情報に基づく判断および仮定に基づいており、将来における当社の実際の業績または事業展開を確約したり、保障するものではありません。